

**2011年度日本文化人類学会
第6回理事会議事録**

日時：2011年10月16日(土) 14:00~17:00

会場：東京外国語大学 本郷サテライト 7階会議室

出席者：渡邊(欣)、綾部 太田、岡田、小田、錦味、栗田、栗本、桑山、清水、関根、高倉、棚橋、玉置、
中川、中谷、名和、森山、渡辺(公)

委任状提出：葛野、佐々木

欠席：三尾

【承認事項】

1. 2011年度第5回理事会議事録を承認。
2. 新入会員(21名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。理事会における入会審査時の個人情報保護に関する問題提起が入会申込者よりあったことが報告された。
3. 「東日本大震災の被災会員に対する2011年度会費徴収特例措置」について3件の申請があったことを報告。各申請事由を確認の上、3件とも承認。
4. 国立民族学博物館より下記のシンポジウム2件の後援依頼があり、総務会で検討の上、後援を承諾したことを報告の上で事後承認。
 - ・機関研究プロジェクト「包摂と自律の人間学」(「支援の人類学」国際シンポジウム)「グローバル支援の時代におけるボランティア - 東南アジアからのメッセージ」(2011年11月5日開催)
 - ・国内シンポジウム「福祉と開発の人類学：広がる包摂空間とライフコース」(2012年1月21日開催)

【報告事項】

1. 会長報告
 - ・日本学術会議より「東日本大震災にかかわる協力学術研究団体の活動の調査について」のアンケート依頼があり、回答を行ったことを報告。
 - ・学会賞授賞理由はこれまで研究大会時の授賞式で読み上げられた後学会ホームページに掲載されていたが、今後は必要に応じて受賞者本人に授賞理由を郵送することとしたことを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・第25回評議員選挙の選挙管理委員10名(理事委員4名、理事外委員6名)の選出について、委員を選出・委嘱したことを報告。
 - ・第7回学会賞候補者について評議員への推薦依頼を10月21日締切で行ったことを報告。
 - ・三島海雲学術賞被推薦者を総務会で検討の上決定し、事務局から必要書類を送付したことを報告。
 - ・朝日賞の推薦書を提出したことを報告。
 - ・地球惑星科学連合より、日本地球惑星科学連合2012年大会セッション提案募集の案内及び参画の呼びかけがあったが、総務会で検討の上、JASCA-INFOでの配信は行わないこととしたことを報告。
3. 会計理事報告
 - ・平成24年度科学研究費補助金(学術定期刊行物)の申請を行う予定であることを報告。
4. 広報理事報告
 - ・2012年度公開シンポジウムについて、澁澤民族学振興基金の民族学振興プロジェクト助成に応募したこと、今後科学研究費補助金(研究成果公开发表B)の申請も行う予定であることを報告。
 - ・9月に学会サーバの移転作業を行ったこと、移転作業前後にメーリングリストの運用の一時停止と再開の案内をJASCA-INFOで配信したこと、運用再開後一部アドレスに案内等がJASCA-INFOで配信されないというトラブルが発生したため、対象者に再配信措置を取るとともに、JASCA-INFOの再設定を行い、問題を解消したことを報告。
 - ・「次世代育成セミナーへの応募方法について」、「『三島海雲学術賞』の候補者募集について」、「『三島海雲学術賞』の候補者募集の締切に関する訂正のお知らせ」、「Anthropology of Japan in Japan(AJJ)2011年度年次大会のお知らせ」を総務会承認の上、それぞれJASCA-INFOで配信したことを事後報告。
5. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：学会賞記念講演を76巻4号に掲載予定であることを報告。
 - ・JRCA編集委員会：第2回編集委員会を開催したこと、VOL.12の進捗状況を報告。
 - ・国際連携委員会：IUAES中間会議がオーストラリアのパーズで開催されたこと、2012年はインドで中間会議が、2013年はマンチェスターで本会議が開催される予定であることを報告。
 - ・課題研究懇談会：関根理事より、10月31日締切で課題研究懇談会の募集を行っていること、日本文化人類学会「課題研究懇談会」設置規則第5条2に基づき課題研究懇談会担当委員会が設置されたことが報告された。課題研究懇談会の募集の締切が迫っているため、JASCA-INFOでリマインダーを配信することとした。
 - ・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究會開催状況、開催予定を報告。
 - ・学会賞選考委員会：次回理事会で学会奨励賞の選考結果を報告する予定であることを報告。
 - ・文化人類学教育特別委員会：2011年度次世代育成セミナーのプログラムについて報告。同プログラムをJASCA-INFOで配信することとした。
 - ・研究大会運営検討委員会：葛野理事に代わって、栗田理事より、資料に基づき第45回研究大会報告が行われた。学会からの補助に対し余剰金が生じたため、返金と寄附の申し入れがあったことが報告され、余剰金の受入が承認された。会計報告の内容については再度確認を行い、次回理事会で改めて報告することとした。
6. 第46回研究大会について
- ・葛野理事に代わって、栗田理事より、第46回研究大会第一回サーキュラーが『文化人類学』76巻2号に掲載される予定であることが報告された。
7. その他
- ・退会申込書に書かれている退会理由について、もう少し退会者の意見を確認する必要があるのではないかと意見が出された。それに対し、会長より高齢会員への対策について次期理事会への申し送り事項とするため、今後の理事会でも取り上げていきたいとの回答があった。

【審議事項】

1. 学会賞選考規則の改訂について
 - ・森山理事より、資料に基づき学会賞選考規則の改訂案が提示され、文言の調整を行った後、継続審議とし、意見がある場合には森山理事へ連絡することとした。今後今期理事会で改定案の最終確認を行い、次期理事会に申し送ることとした。
2. 英文倫理綱領（案）について
 - ・小田理事より、資料に基づき英文倫理綱領（案）について説明があり、文言について意見交換を行った後、継続審議とし、意見がある場合には小田理事へ連絡することとした。なお、倫理綱領については日本語を正文とすることをホームページ掲載時に明記することとした。
3. 災害時プロトコルの作成について
 - ・渡邊会長より、資料に基づき災害時（緊急時）プロトコル策定について説明があり、各項目について意見交換を行った後、継続審議とし、今期理事会で作成したプロトコル（案）を次期理事会へ申し送ることとした。

以上